



社会を明るくする運動  
シンボルマーク

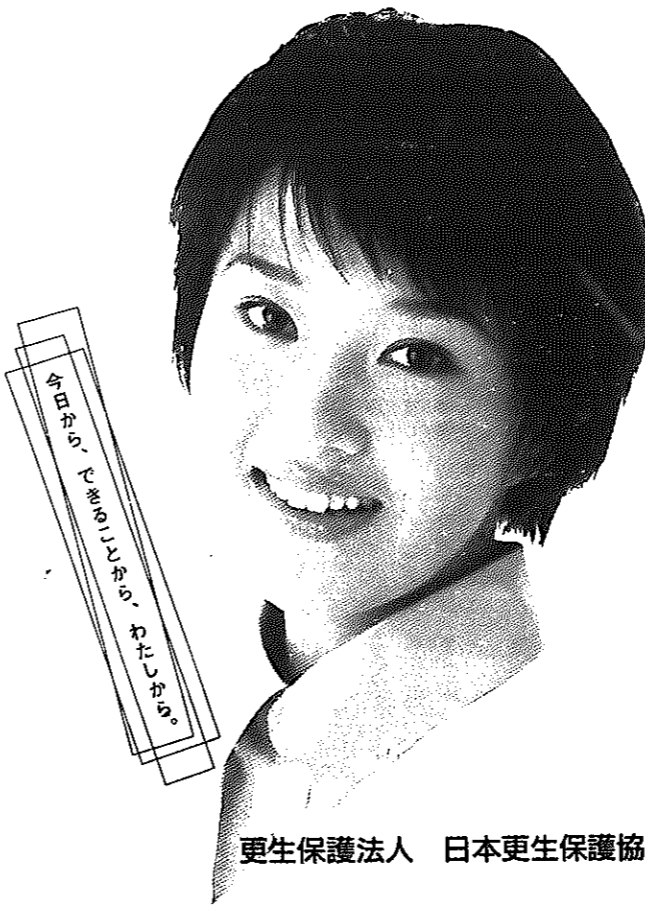


社会を明るくする運動  
シンボルマーク

7月は社会を明るくする運動強調月間

# 応援します 今があなたの 出発点

毎年7月は、「社会を明るくする運動」強調月間です。すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築いていこうと、全国でさまざまな運動が展開されます。家庭や地域ぐるみで、犯罪のない明るい社会を築いていきましょう。



更生保護法人 日本更生保護協会

## 家庭・地域ぐるみで 子供を非行から守ろう

子供が非行に走る背景は、いろいろな要因が複雑に絡み合っています。思春期を迎え、親への反発心だったり、受験ストレスだったり。子供たちが抱えている悩みやストレスが解消されず、はけ口として非行に走ってしまうというケースも多いようです。

非行を防止するためには、親が普段から子供に社会のルールを教えることや何でも話しやすい雰囲気や家庭の中に作っておくことが大切です。家族の愛情が、揺れ動く子供の心を支え、非

行を防止します。

万一、子供が非行に陥ってしまった場合、立ち直るためには、本人の強い意志はもちろん、家庭や職場、学校など周りの人たちの支援が欠かせません。失敗は誰にでもあります。大切なのは、同じ過ちを繰り返さないことです。地域の支え合いが明るい社会を築くための第一歩になります。

毎年七月は、社会を明るくする運動強調月間です。白根市でも七月十九日(日)に青少年健全育成大会・社会を明るくする運動市民大会が行われるのをはじめ、街頭キャンペーンなどの催しが行われます。ぜひお出掛けください。

## これでもまだ他人事？

～テレクラ利用経験～

女子高校生 — 28.4%  
女子中学生 — 19.2%

保護者の100%が  
ウチの子に限ってと  
思ってる？

新潟県青少年問題協議会「青少年の生活実態と意識の状況」(平成7年6月調査)によると、女子高校生の28.4%、女子中学生の19.2%は「テレクラの利用経験あり」と答えています。保護者の皆さんは、お子さんの変化に対して注意を怠らないよう心掛けてください。

## テレクラのここが問題！

- 女性に対する広告が、チラシの各戸配布や街頭でのティッシュ配りなどという形で行われ、小学生から主婦まで対象を選んでいること
- 女性はフリーダイヤル(無料)で利用でき、少女たちの安易な利用が目立つこと
- 電話での会話にとどまらず、待ち合わせに発展し、性的被害を受ける事例が多いこと
- ほとんどの男性客は、その女性と性的関係を持つことが最終目的であること



## 強調月間中の主な催し

### 青少年健全育成市民大会 社会を明るくする運動市民大会

白根市でも、強調月間中に大会を開催します。市内各中学校の代表による「わたしの主張大会」などが行われます。入場は無料です。お気軽に参加ください。

とき 7月19日(土) 午後1時30分～  
ところ カルチャーセンターサブアリーナ

#### 一大会日程一

- 13:30～ 開会
- 13:45～14:00 「社会を明るくする運動」市民大会
- 14:00～14:20 青少年健全育成に関する顕彰者の表彰
- 14:20～15:30 わたしの主張大会  
市内各中学校の12人が出場します
- 15:30～16:00 アトラクション  
「フルーツとオカリナの調べ」
- 16:00～16:20 「わたしの主張大会」の表彰・講評
- 16:20～16:25 青少年健全育成大会宣言
- 16:25 閉会

※期間中の催しに、多数の皆さんのご参加とご協力をお願いします。

### 木村和司選手(元横浜マリノス)の サッカー教室

木村和司選手、元横浜マリノス選手。13年間の選手生活で20試合に出場し、51得点6アシスト。現在NHKほかで解説者として活躍中。



元横浜マリノスの木村和司選手が、7月29日(火)に1日保護観察所長として新潟保護観察所などを訪れます。午後からは白根市でサッカー教室を開催。元一流プロのサッカー指導を見学できます。ぜひお出掛けください。

とき 7月29日(火) 13:30～15:00  
ところ 白根第一中学校グラウンド  
(雨天の場合はカルチャーセンター)  
問い合わせ カルチャーセンター(☎373-6311)へ

このほか、白根地区保護司会の皆さんによる街頭キャンペーンが7月6日(日)午後1時からジャスコ白根店で行われます。

## 増える少年非行

平成八年に新潟県内で補導された少年の総数は、三千七百八十七人で、前年に比べて三百七十人(一〇・八%)増加しました。このうち、窃盗などの刑法犯は三千七百四十一人で、検挙・補導された人の半数以上(五八・一%)を少年が占めていることとなります。

白根警察署管内でも、補導される少年の数は増えています。平成八年の補導総数は七十四人(前年五十三人)。このうち、女子が三十四人(前年十人)と急増しています。犯行別では窃盗犯が七十人で、全体の九四・六%を占めています。中でも万引きが六十一人(前年四十三人)と大幅に増加しています。非行の主な内容は、県内、白根署管内共に非行の初期によく見られる万引きや自転車の窃盗など。その一方で、金銭や品物を狙った強盗で補導された少年の数が県内で三十一人(前年十六人)と倍増するなど、凶悪犯も目立つようになってきました。

## 新潟県内の刑法犯少年罪種別・学職別状況

